

建設通信新聞

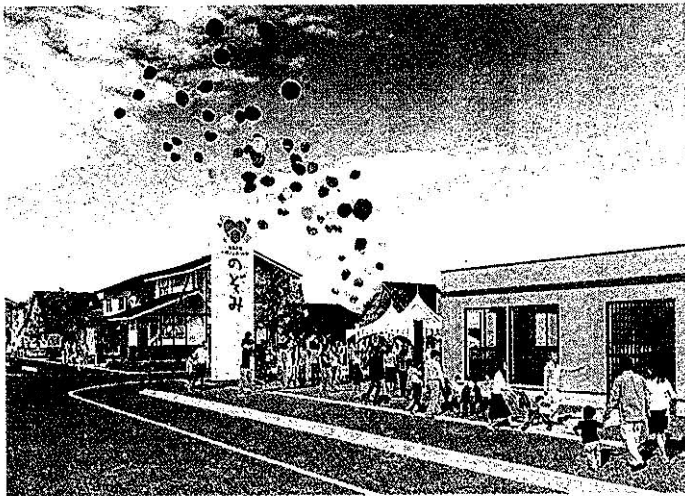
被災者向け住宅再建支援

岩沼(宮城)に展示場、相談窓口も

オオバは、東日本大震災の被災者が住宅再建をスムーズに進められることをサポートする事業に着手した。被災者に対象を絞った住宅展示場を開設、ハウスメーカーの協力を得て価格を抑えた住宅を紹介するとともに、公的助成制度も含めた資金

オオバ

計画などの相談窓口を設ける。宮城県岩沼市で、4月26日のオープンを目指し、準備を進めている。清水孝太事業ソリューション部担当部長は「宮城県下で何力所か手掛けたい」と述べ、復興に積極的に貢献する考えを示した。



4月に完成する住宅展示場の完成予想図

被災地で住宅を自主再建する場合、土地造成などインフラ整備は行政が担当するが、住宅自体は被災者が自己責任で建てる必要がある。二重口を抱えるなど資金に余裕がない被災者にとっては、手持ち資金で建てられる住宅の規模や質、助成制度も活用した資金調達の方法などが分かれば、住宅再建を円滑に進めることができる。

被災地で住民の相談業務も手掛けている同社は、復興事業が比較的進んでいる岩沼市に対し、被災者支援策として提案した結果、被災者向け住まい再建相談事業として受託

した。事業は同市が行政相談窓口、オオバが展示場事業を担当、官民協働で実施する。展示場は三軒茶屋西土地区画整理事業の保留地に建設、「復興応援岩沼ハウジングパーク」のぞみ」の名称で2年間設置する。被災者が購入しやすい住宅とするため、本体価格2000万円以下のモデルハウスを、14社が1棟ずつ展示する。

オオバは、来場者の相談に応じるため、平日は8、4人が展示場内のセンターハウスに常駐するほか、仙台市にある東北支店も応援する。送迎バスで仮設住宅を回り、展示場に足を運んでもらうことも計画している。辻本茂常務は「被災者をトータルにサポートすることで、前により進みやすくなる」と述べている。

出展するハウスメーカーは次のとおり。

- ▽伊藤建設▽ウィンハウス▽皆成建設▽三光不動産▽スモリ工業▽セルコホーム▽千金堂▽大東住宅▽大和ハウス工業▽鉄平の家▽松家住宅東北▽百年住宅▽フォーシーズンホールディングス▽三井ホーム。